

通級指導教室の役割

通級指導教室は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行い、通級で学んだことを学校生活や家庭生活等で生かし、学習や生活での困難を改善したり、克服したりすることを目指します。そのために、以下の役割を担います。

○ 通級による個別の指導計画の作成と指導

通級に通う児童生徒やその保護者の思いは様々です。一人一人の思いや願いなどに耳を傾け、寄り添いながら、どのような指導や支援がよいのかを考えます。一人一人に、適切で的確なアセスメントを実施し、状態に即した個別の指導計画を作成して、計画的に指導を行います。

○ 保護者との協働

保護者のニーズや疑問、不安に寄り添い、相談や助言、情報の提供等を行います。通級での指導のねらいを保護者と共有し、一緒に学校生活や家庭生活、子育て等について考えていきます。

○ 在籍校との連携

児童生徒が、自信をもって充実した学校生活を送ることができるように、在籍校の先生方と個別の教育支援計画や個別の指導計画について共通理解し、連携して指導を行います。児童生徒の状況や障がいの状態に応じて、在籍校訪問、特別支援教育コーディネーターや学級担任との懇談、校内委員会への参加、障がい理解のための出前授業、担任支援等を行っています。

○ その他関係諸機関との連携

行政、医療機関、療育機関、特別支援学校等の機関とも連携しながら、児童生徒の全体像を的確に把握し、本人の自己実現が図られるようにしていきます。

(参考:「障害に応じた通級による指導の手引き」文部科学省)

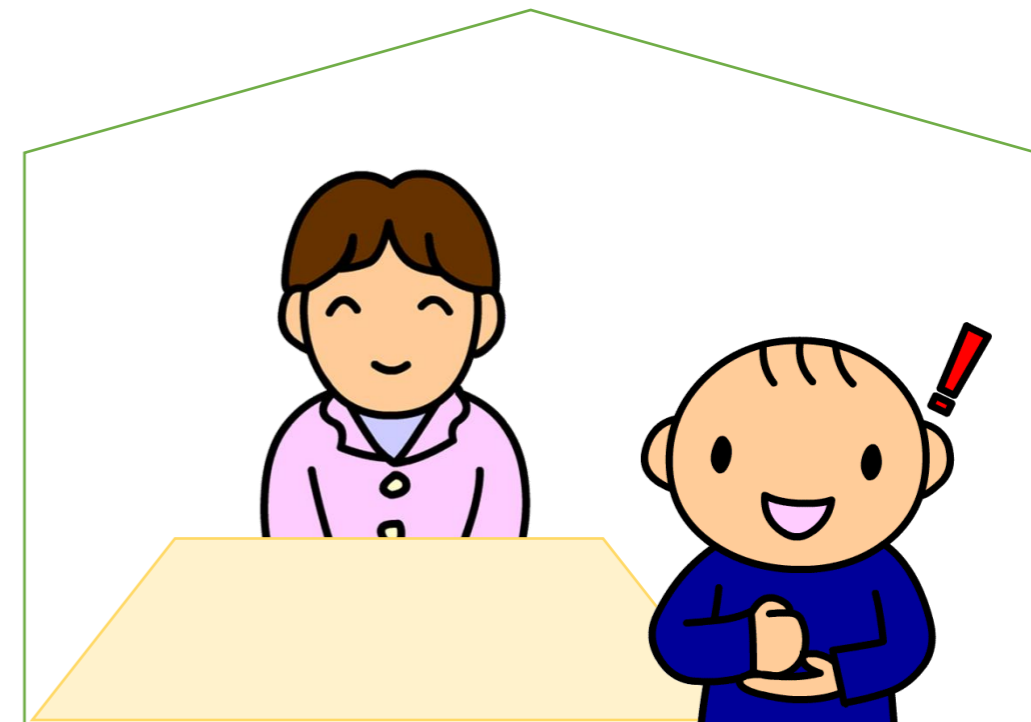
令和6年度 通級指導教室 設置校

区	学校名	設置教室	区	学校名	設置教室
北	葛塚東小	言語 難聴 発達	江南	亀田西小	言語 発達
東	東山の下小	言語 発達	秋葉	新津第一小	言語 難聴 発達
	竹尾小	発達		荻川小	言語 発達
	東中野山小	発達(巡回)		新津第二小	発達(巡回)
	南中野山小	発達(巡回)		結小	発達(巡回)
	江南小	発達(巡回)		阿賀小	発達(巡回)
	石山中	発達	南	白根小	言語 発達
中央	鏡淵小	言語 難聴 発達		大通小	発達(巡回)
	万代長嶺小	言語 難聴 発達		白根北中	発達
	浜浦小	発達	西	内野小	言語 発達
	関屋中	発達(巡回)		黒埼南小	発達
	鳥屋野中	発達(巡回)		立仏小	発達(巡回)
	白新中	発達		大野小	発達(巡回)
	寄居中	発達(巡回)		小新中	発達
	明鏡高	発達	西蒲	巻南小	言語 難聴 発達

※ 詳しい情報を知りたい方は、新潟市教育委員会 特別支援教育課(226-3267)までお問い合わせください。

知っていますか？ 通級指導教室のこと

新潟市の通級指導教室のご案内



新潟市教育委員会

通級指導教室・「通級による指導」とは？

文部科学省調査では、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、通常の学級に8.8%在籍する」とされ、「通級による指導」のニーズは、年々高まっています。新潟市では、言語障がい、難聴、発達障がいの通級指導教室を設置しています。言語障がいと難聴の通級指導教室は小学校に、発達障がいの通級指導教室は、小学校、中学校、高等学校に設置しています。「通級による指導」は、通常の学級に在籍する児童生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について、学習上又は生活上の課題の改善・克服を目的とした指導(自立活動の指導)を「通級指導教室」で受ける指導の形態です。通級する時間帯は、学級の授業時間と放課後の時間も使えます。「通級による指導」は、通級による指導の必要が認められた場合に年度途中途中で開始となり、学習上又は生活上の課題が改善・克服されれば、年度途中で終了します。



言語障がい通級指導教室って どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

発音が誤っている、吃音(きつ音)があつて困っている、言いたいことが適切な言葉で言えない、話の内容がよく理解できない等によって、話し言葉や言語発達による学習上又は生活上に支援が必要な子どもが通っています。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、週1回1単位時間(45分)、1対1の個別指導を基本として、個の課題から設定した指導を行います。吃音指導は、小人数グループで行う場合もあります。

<具体的な指導内容例>

- 正しい発音を獲得するための指導(構音指導)
- 正しい音と誤っている音の聞き分け練習(耳の訓練)
- 音韻意識(語音を正しく認識し操作する力 逆唱等)
- 吃音を正しく理解する学習、環境調整(吃音理解)
- 吃音が出にくい話し方の練習(流暢性形成)
- 発話意欲を高める働き掛け(コミュニケーション)

Q3 担当が言語障がい通級で大切にしていることは？

オーダーメイドな授業をつくり、一人一人のニーズに応じます！

子どもとかわかる期間は、短くて2~3か月、長くなれば卒業までと、期間の長短はありますが、毎回の授業での子どもの反応を丁寧に見取り、一人一人に応じた授業をイメージします。構音障がい吃音、そして学習言語の支援と多岐に渡る内容について支援し、子どもの自信を育みます。

活動に前向きに取り組み、努力する子どもを見守り、応援します。

難聴通級指導教室って、 どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

「きこえ」にニーズのある子どもが通っています。「難聴」と一言でいってもその程度や聞こえ方は一人一人違います。補聴器や人工内耳を装着している場合が多いですが、片耳難聴や軽度難聴の子どもも通っています。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、週1回1単位時間(45分)~2単位時間(90分)の指導を行います。少人数のグループ学習や難聴のある子どもたちの交流会を行う場合もあります。

<具体的な指導内容例>

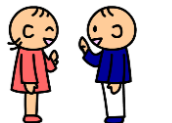
- 聴力の変動、補聴器・人工内耳が正常に作動しているかのチェック(聴覚管理)
- 補聴器や人工内耳を活用しての聞き取りの力を伸ばす指導(聴能指導)
- 語いを増やしたり、言葉を正しく使ったりすることの指導(言語指導)

Q3 担当が難聴通級で大切にしていることは？

関係機関と連携して一人一人の「きこえ」のニーズに対応し、「分かる」「できる」「伝わる」をサポートします！

「きこえ」のニーズに寄り添い指導・支援することで、自分の「きこえ」の状況を理解し、「こうすれば聞き取りやすい」「こうすれば分かる・できる」「こうすれば伝わる」を増やします。困難を改善・克服して前向きに頑張ろうとする子どもたちの成長を見守り、応援します。

発達障がい通級指導教室って どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

対人関係やコミュニケーション、感情や行動(衝動性・多動性)のコントロール、集中力、かん黙、読み書き計算等特定の学習に支援が必要な子どもたちが通っています。子どもたちが、学校生活の中で成功体験をたくさんすることができるよう、支援します。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、子どもの実態にもよりますが、小学校では週1回1単位時間(45分)、中学校では週1回1単位時間(50分)、高校では週1回2単位時間(1単位時間50分)の指導を行います。課題に応じて2~4人程度の少人数グループで指導を行う場合もあれば個別指導を行う場合もあります。

<具体的な指導内容例>

- ボディコントロール、聞き取り課題、集中トレーニングなどの学習に向かう姿勢づくり
- ソーシャルスキルトレーニング
- 対人スキル、会話スキル
- 気持ちの表出やコントロールに関すること
- 自分の特性等、自己理解に関すること

Q3 担当が発達障がい通級で大切にしていることは？

保護者や学級担任と連携し、子どもの気持ちに寄り添いながら支援を重ねるなかで、成長する子どもを支援します！

子どもの気持ちに寄り添いながら、保護者や学級担任と連携してニーズに応じた指導を展開します。保護者や学級担任と課題を共有し、一緒に支援方法を探り、同じ方向で支援していきます。そのなかで、子どもが自分なりに課題をとらえて成長する姿を見守り、応援します。